

地域と被災特性で考える 避難者支援

2019. 2.13 (水) 18:00-19:30

予約不要
入場無料

名古屋大学減災館1階 減災ホール



大規模災害時には危険性から逃れるため、或いは自宅で生活を送れないといった事情から、大勢の方が避難し沢山の避難所が出来ます。その規模が事前の想定を超え、行政の対応能力を上回るとき、私達はどのように助け合えばよいのでしょうか。過去の事例を読み解きながら今後について一緒に考えたいと思います。

荒木 裕子

名古屋大学減災連携研究センター
特任准教授



本震後の熊本県庁

主催：名古屋大学 減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL: (052) 789-3468

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。